



志村第一小学校コミュニティ・スクール委員会だより

〈家庭数配付〉

令和7年1月31日

板橋区立志村第一小学校

校長 高橋 宏彰

令和7年1月18日（土）「いたばし学級活動の日」に、第5回コミュニティ・スクール委員会を開催しましたので、次のとおり実施状況を報告します。

1 学校長より

今年度、地域の皆様による授業に関する支援や保護者の方による校外学習の付き添いボランティアなど、大変有り難かったです。来年度もこのような活動を積極的に取り入れていきたいと思えます。子どもたちに地域愛の心を育んでいけるような教育活動に向け、今後ともご支援ご協力をお願いします。



【学級活動の日：学級会の様子】

2 協議会の様子

熟議テーマ「令和7年度の教育活動の充実に向けて」

最初に、令和7年度の「落ち着いた学校づくり」に向け、令和7年度の教育課程について、校長より、特に以下の内容について説明がありました。

- ★ 教育目標の「進んで協力する子ども」を重点目標として教育活動を行っていくこと
- ★ 「個別最適な学習と協働的な学びの一体化」を研究の中心に置き、自らの学びを調整していくことができる児童の育成に取り組んでいきたいこと

その内容を踏まえ、令和7年度の本校の教育活動をどのように充実させていくかについて、コミュニティ・スクール委員の皆様より、次のようなご意見をいただき、熟議を交わしました。

（熟議で出たご意見）

- 明るく気持ちのよい挨拶の励行については、学校の取組だけではなく、保護者への働きかけが大切であると思う。
- 児童と関わる活動を行った後、その子たちと地域で会ったときに元気に挨拶してくれた。地域の中にいくつかのグループがあるが、今後はその方々と雑談のような形でよいので児童とコミュニケーションを定期的にとる機会をもてるといいと思った。
- 保護者の方が率先して挨拶してもらえよう、学校からも啓発していきたい。
- 子どもが戦時中のことについて関心が高まっている場合、教科書の内容だけではなく、体験をした方々のお話を直接聞く場を設けると、学びがより充実する。
- 学校評価の保護者アンケートの結果からPTAの活動に参加する人が少ないということであった。地域の行事への参加率も芳しくない。PTAへの参加は地域へ関わる意識が高まると思うので、PTA活動に参加できるような運用の方法を考えていく必要がある。
- 共働き世帯が多い。この地域の町会への加入率は5割くらいである。地域との関わりがなくても生活できる便利な世の中になってきているのかもしれない。ただ、PTAの活動に対して、やりたい気持ちがない訳ではないと思う。今後は、PTAの活動の仕方を変えていく必要がある。
- 世の中の流れは様々だが、「子どものため」という思いで教育活動していくことが重要である。人の話をしっかり聞く、約束を守る等、知・徳・体の『徳』の部分を重視して教育活動を展開してほしい。

熟議を経て、令和7年度の学校経営方針に委員の皆様からご賛同を得ることができました。